

Weekly Report

創 立：1980年(昭和55年)1月10日
 会 長：稲葉 徹
 幹 事：大嶽 達郎
 クラブ広報委員長：鈴木 健司
 例 会 日：毎週木曜日 PM12:30~
 会 場：ヒルトン名古屋



ロータリー：
変化をもたらす

2017~2018年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリー：変化をもたらす
(ROTARY: MAKING A
DIFFERENCE)

2017~2018年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
ロータリーの品格を高めよう!

事 務 局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3/AMMNATビル7F
 T E L：052-211-3803
 F A X：052-211-2623
 M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
 U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1818回例会

～職業奉仕月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2018年1月25日(木) 晴れ 第26回

司 会：鳥山政明会場委員
 齊 唱：「四つのテスト」「それでこそロータリー」

会長挨拶

稲葉徹会長



皆さん、こんにちは。今月ロータリーでは「職業奉仕月間」です。この職業奉仕について神野ガバナーは、ガバナー月信2018年1月号で、RIの中で職業倫理をベースにした日本流の考え方(ロータリアンの奉仕活動は、自らの職業をより高潔なものとしなが奉仕活動を実践することであり、その理念で結ばれた職業人の集まりがロータリーであるという考え方)が弱まっているようです、と述べておられます。最近の世界の職業奉仕に対する捉え方は、ロータリアンが仕事として活動するものすべてが職業奉仕であって、これは社会奉仕活動につながっているという風になっており、今後この流れはより一層強まっていくように思う、とされています。そこで、神野ガバナーはこの変化の中で、ロータリーには「四つのテスト」があり、奉仕に対する考え方がいかに変化しようとも普遍的にロータリー精神を繋ぎ、伝えていくべきキーワードとされ、「四つのテスト」の重要性を説いてみます。そこで今回は、「ロータリー指導原則」四つのうち、「四つのテスト(The Four-Way Test)」についてお話させていただこうと思います。

ロータリーの指導原則には、
 ・ロータリーの目的 (The Object of Rotary)
 ・四つのテスト (The Four Way Test)
 ・ロータリーの標語 (超我の奉仕(Service Above Self))
 ・最もよく奉仕する者、最も多く報いられる
 (One profits Most Who Serves Best)
 ・ロータリアン行動規範 (Rotarian Code of Conduct)
 の四つがあります。

「四つのテスト」はシカゴRCの会員でRI会長を務めたハーバート・J・テラーが1932年の経済恐慌時の倒産寸前の調理器具メーカーの再建を要請され正しい営業活動を行えば必ず会社再建できると考え「四つのテスト」を示したそうです。会社の業績は改善を続け、5年後に借金を完済。その15年後には株主に配当金を分配するまでになったとのこと。この「四つのテスト」は職業人としてのロータリアンの心構えを、ロータリーの倫理基準から具体的に記述したものが「ロータリー倫理訓」だとすれば、それをロータリアンのみならず一般の職業人にも理解できるように、簡潔かつ的確にまとめたものがこの「四つのテスト」だとされています。まさに現代の会社経営にも役立つ画期的な経営管理の法則ではないでしょうか。

四つのテスト(The Four-Way Test)
 言行はこれに照らしてから: Of the things we think, say or do
 1) 真実かどうか: Is it the TRUTH ?
 2) みんなに公平か: Is it FAIR to all concerned ?
 3) 好意と友情を深めるか:
 Will it build GOOD WILL and BETTER FRIEND SHIPS ?

4) みんなのためになるかどうか:

Will it be BENEFFICIAL to all concerned ?

昨年会長エレクトセミナーで受講した時のロータリー研修テキストによれば、「四つのテスト」はロータリアンの行動の指針であり、また、1911年ポーランドの大会で発表され、1950年のデトロイトの大会で採択されたロータリーの「二つの標語」、フランク・コリンズの"Service above self"(超我の奉仕)とアーサー・F・シェルドンの"He profits most who serves best"(最もよく奉仕するものは最も多く報いられる)などは何れも他者を先にすることを自分自身の心に命ずることが中心となっています。そして、その実践は職業生活、日常生活の行動を通じて人のために役立つ、奉仕を現実化していこうとする姿勢に、ロータリー百年の歴史の見事さがあると考えられます、とされています。このように、実業生活や専門職生活の中で、我々ロータリアンはこの24の単語からなる「四つのテスト」を経営の指針とし、企業活動を行っていくのが良いのではないのでしょうか。

出席報告

田中宏出席委員長

会員64名 出席43名 (出席計算人数47名)

出席率 81.1% 1月18日は補填により90.9%

ニコボックス

田中宏ニコボックス委員長

- ・ 明後日27日は満81才の誕生日です。愈々長寿入りです! 淋しいです! でも今日私の誕生日をしてくれる素敵な女性とデートです。朝からワクワク! ドキドキ! です。 **野崎 洋二さん**
- ・ おく様の誕生日でした。お花有りがとうございました。 **渡辺喜代彦さん**
- ・ 先日は市岡さんと高須さんと楽しく仙台へ行ってきました。大変お世話になりました。 **鶴田 浩さん**
- ・ 鶴田さん仙台では大変お世話になりました。 **市岡 正蔵さん**
- ・ 久しぶりの積雪ですネ。皆様、滑らないようお気をつけ下さい。 **湯澤 信雄さん**
- ・ 本日、地鎮祭を行いました。 **鈴木 淑久さん**
- ・ 月曜に健康診断を受診して悪玉コレステロール値が下がっていました。努力が報われました。 **田中 宏さん**

幹事報告

大嶽達郎幹事

- ・ 本日17:30から第2回クラブ奉仕協議会を日本料理「蓬萊」にて行います。
- ・ 次週2月1日(木)13:40から第8回理事会をヒルトン4階「梅の間」にて行います。

委員会・同好会報告

ゴルフ同好会: 田中宏さん

3月9日(金)三好カントリークラブにてゴルフコンペを行います。ご予約がお決まりの方は事務局にて出欠の確認を連絡して頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。

スキー同好会:鶴田浩さん

1月26日(金)～1月28日(日)に札幌手稲ハイランドスキー場にて第3回スキーツアーを開催いたしました。プロスキーヤー及び登山家の三浦雄一郎さんともお会い出来ました。

参加者:松波恒彦、湯澤信雄、鶴田 浩、山口哲史、鈴木健司(敬称略)



第4回クラブフォーラム(中間決算と組織)

中間決算報告書(案) 収入の部:堀慎治会計

収入の部です。科目と予算の相違点は、まず最初に協力金です。前期に新入会員がおられなかった為0円になっています。R財団米山奨学金が予算より多い事については、個人のご寄付の方が多かった為この分は支出の方に反映しています。また米山奨学金は去年の四月より金瑩さんが奨学生としてお見えになったので、米山財団から84万円が名古屋瑞穂RCに入りまして、前期の収入は17,765,368円になります。

支出の部

支出の部その1です。例年通りRCの組織関係、RI、また全国のRCは例年通りの支出になっています。収入の部と異なる点は、米山財団やRC財団の支出の方が、収入とリンクして支出が増えているという点です。予算に対し実績が2,862,400円となっています。

支出その2はクラブ関係の支出です。例会費が8,452,412円、委員会活動費が1,896,421円の支出になっています。

支出その3は管理費です。人件費や事務所の賃貸料により、支出の方が6,078,471円、当期支出合計が20,566,025円となっています。収入が1,776万円に対して、支出が2,056万円となっています。

ニコボックス収支計算書

ニコボックスです。収入が前期1,453,057円、支出が前年より大きく増え、1,525,131円となっています。後期は例年支出はほとんどありませんが、参加社の人数で数字が変わり、前年度よりは少し多くなっています。

貸借対照の部

現金及び普通預金で1,569,848円、普通預金が1,979,312円です。40周年は例年ニコボックスから積立する事になっていますので、現在600万円積み立てています。前払い等で普通預金が12,732,864円、剰余金(ニコボックス)は13,732,864円です。定期預金に関しては嶺木さんからの寄付がそのまま残っております。



監査報告:森恒夫監査

1月11日に事務所で監査を行った結果を報告します。名古屋瑞穂RCの平成29年7月1日より平成29年12月31日にかかる中間収支決算書及び平成29年12月31日現在の貸借対照表について監査を行いました。監査の結果、これら財務諸表は上記期間の収支及び平成29年12月31日現在の財務状況を適正に表示していると認めました。



次年度組織:湯澤信雄 副幹事

前回のクラブフォーラムにて役員及び理事の人事は承認頂きました。それに基づきまして委員会の構成表を作成しましたので、発表します。皆様ご自分のお名前を確認して頂き、次年度もRCの運営にご協力をお



例会のご案内

- 今週の卓話 2月1日(木) 新会員イニシエーションスピーチ
会員卓話:本多誠之さん
- 次週の行事 2月6日(火) 4RC合同例会
場 所:名古屋マリオットアソシアホテル 16F
「アイリス」
時 間:18:00～20:00
- 次々週 2月8日(木) 振替により例会変更

2018～2019年度クラブ役員理事及び委員会構成表

会 長	平野 好道	役 員	ク ラ ブ 奉 仕 委 員 長	堀 慎 治	理 事
副 会 長	亀井 直人	役 員	職 業 奉 仕 委 員 長	湯澤 勇生	理 事
会 長 エ レ ク ト	関谷 俊征	役 員	社 会 奉 仕 委 員 長	鶴田 浩	理 事
直 前 会 長	稲葉 徹	役 員	国 際 奉 仕 委 員 長	村上 学	理 事
幹 事	湯澤 信雄	役 員	青 少 年 奉 仕 委 員 長	鈴木 健司	理 事
会 計	梅村 昌孝	役 員	会 員 増 強 及 び 維 持 委 員 長	大 嶽 達 郎	理 事
S ・ A ・ A	八木 沢幹夫	役 員	親 睦 活 動 委 員 長	田 中 宏	理 事
副 幹 事	鈴木 淑久		R 情 報 ・ 研 修 委 員 長	岩 田 修 司	理 事
			会 場 委 員 長	山 口 哲 司	理 事
			R 財 団 委 員 長	伊 藤 豪	理 事
			長 期 ビ ジ ョ ン 委 員 長	松 波 恒 彦	理 事
			40周年記念実行委員長	松 井 善 則	理 事

奉 仕 区 分	委 員 会 名	委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕	ク ラ ブ 奉 仕	堀 慎 治	山 口 哲 司	星 野 一 郎 大 嶽 達 郎 長 谷 川 隆 田 中 宏 鈴 木 実 岩 田 修 司
	出 席 ニコボックス	星 野 一 郎	酒 井 俊 光	入 江 理 森 裕 之 鈴 木 雅 登 牧 野 智 繁
	会 員 増 強 及 び 維 持 会 員 選 考 職 業 分 類	大 嶽 達 郎 ①	堀 慎 治 ⑤	長 瀬 憲 八 郎 ④ 小 串 和 夫 ⑦ 内 田 久 利 ④ 梅 村 昌 孝 ④ 鈴 木 淑 久 ⑤ 山 口 哲 司 ⑤ 鈴 木 実 ②
	ク ラ ブ 広 報	長 谷 川 隆	村 瀬 俊 高	鳥 山 政 明 中 野 健 二 鈴 木 実
	親 睦 活 動	田 中 宏	鳥 山 政 明	広 瀬 弘 幸 鈴 木 伸 一 鈴 木 雅 登 本 多 誠 之 永 草 孝 憲
	プ ロ グ ラ ム	鈴 木 実	森 裕 之	吉 木 洋 二 泉 憲 一 田 中 政 雄
	R 情 報 ・ 研 修	岩 田 修 司 ②	安 岡 克 明 ②	加 納 裕 ② 市 岡 正 蔵 ④ 近 藤 茂 弘 ①
	会 場	山 口 哲 司	近 藤 茂 弘	湯 澤 勇 生 安 岡 克 明 北 岡 寿 人 花 井 芳 太 朗 松 田 浩 孝
職 業 奉 仕	職 業 奉 仕	湯 澤 勇 生	入 江 理	鈴 木 圓 三 長 坂 邦 雄 田 中 政 雄
社 会 奉 仕	社 会 奉 仕 環 境 保 全	鶴 田 浩	馬 場 將 嘉	高 村 博 三 渡 辺 喜 代 彦 八 木 沢 幹 夫 村 瀬 俊 高
青 少 年 奉 仕	青 少 年 奉 仕 ローターアクト インターアクト	鈴 木 健 司	鈴 木 伸 一 (RAC) 近 藤 茂 弘 (IAC)	山 田 鎮 浩 森 恒 夫 越 原 一 郎 岩 本 成 郎 酒 井 俊 光 長 谷 川 隆
国 際 奉 仕	国 際 奉 仕	村 上 学	北 岡 寿 人 (延平班長)	野 崎 洋 二 花 井 芳 太 朗 本 多 誠 之
	R 財 団	伊 藤 豪	天 野 正 明	佐 藤 善 乙 岡 村 達 人 田 中 宏
	米 山 奨 学	市 岡 正 蔵	長 瀬 憲 八 郎	岩 田 吉 廣 堀 慎 治 佐 治 寛 行
	長 期 ビ ジ ョ ン	松 波 恒 彦	梅 村 昌 孝	近 藤 雄 亮 関 谷 俊 征 鈴 木 淑 久
	40周年記念実行	松 井 善 則	梅 村 昌 孝 大 嶽 達 郎	亀 井 直 人 堀 慎 治 星 野 一 郎

会 計 監 査	森 恒 夫
---------	-------

第2760地区 出 向 者	近 藤 雄 亮 ⑥ (地区諮問) ④ (地区指名委員) ② (地区10年史委員長) 山 口 哲 司 ④ (インターアクト) 堀 慎 治 ② (米山記念奨学) 梅 村 昌 孝 ② (資金推進)
------------------	--

国 際 ロ ー タ リ ー 出 向 者	近 藤 雄 亮 (ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 (ARPIC))
------------------------	---

日 本 ロ ー タ リ ー 出 向 者	近 藤 雄 亮 (公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 理事) (ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会 (ロータリー希望の風奨学金) 委員)
------------------------	--

平和の「概念」を「現実」に

第1次世界大戦終結99周年を記念し、スイス・ジュネーブの国連事務局で、「ロータリーデー」が開催され、1,200以上が集まりました。11月11日(土)、87カ国の代表者が元国際連盟のパレ・デ・ナシオンに集結し、イアン H.S. ライズリーRI会長が以下のテーマを提唱しました。「平和:変化をもたらす(Peace: Making a Difference)」。

「国際理解、親善、そして平和は、兼ねてからのロータリーの第一目標」と話すライズリー氏。「ロータリーの奉仕活動はすべて平和構築につながることで、そして平和構築のために奉仕を行うことは、私たち皆がすでに認識していることです」今回、これまでの13年間で初めて、「ロータリーデー」の行事がニューヨーク以外で開催されることとなりました。ジュネーブ平和週間の最後の日を「ロータリーデー」となり、ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長は、「ロータリーと国連の長年にわたる協力関係と、平和と国際理解の追求」を言明しました。「ロータリー会員は、奉仕を通じて、平和を概念から現実に行き届ける」と、エド・フタ氏(国連に対するロータリー代表)は述べました。「平和は概念として説くものではなく、実現すべきものです」イベントのハイライトとして、ジョン・ヒューコ事務総長が、2017年の「世界を変える行動人:平和の推進者」(People of Action: Champion of Peace)を発表し、「組織の活動の範囲・影響力」を称え、「より平和的な、より活力のある社会になるための道しるべ」を記したことを称えました。選ばれた6人は、以下の通りです。

アレハンドロ・レイエス・ロザノさん(コロンビア、Bogotá Capitalロータリークラブ会員):ロータリーのグローバル補助金を活用して、中南米6カ国の27名の女性に対し平和構築、紛争解決、仲裁スキルの研修を実施。また、コロンビアのファン・マヌエル・サントス大統領の任命により、コロンビア革命軍との50年にわたる紛争の終結に向けた交渉と条件設定を行うチームの一員となっている。

ジーン・ベストさん(スコットランド、Kirkcudbrightロータリークラブ会員):争いを解決するスキルを10代の子どもに教え、子どもたちが学校や地元地域で平和関連の奉仕活動を立ち上げることを目的とした平和プロジェクトを実施。「自分の心に平和がなければ、世界平和を目指すことはできません」

サフィナ・ラーマンさん(バングラデシュ、Dhaka Mahanagarロータリークラブ会員):バングラデシュの職場における女性の権利推進に尽力。衣類工場経営者として同国で初めて、女性従業員のための健康保険と産休制度を導入。「教育は、平和に向けた変化の原動力となります」

アン・フリッシュさん(米国、White Bear Lakeロータリークラブ会員):非武装の市民が紛争地域の人びとを守れると信じ、バンコクおよびタイ南部で平和プロセスの研修プログラムを設立。「持続可能な平和とは、市民による積極的な参加を必要とします」

キラン・シラーさん(元ロータリー平和フェロー):米国テネシー州にあるInternational Storytelling Center(国際ストーリーテリングセンター)の所長。同センターは、平和構築のための手段としてストーリーテリングを用いている。「話を伝えるということは本当に重要だと思います」

テイラー・キャス・タルボットさん(元ロータリー平和フェロー):日本の国際基督教大学ロータリー平和センターの卒業生。毎日20トン分のむき出しの衛生廃棄物を扱うごみ収集者のために、SWaCH(ごみ収集者共同組合)と協力して、ごみ収集者が衛生廃棄物に直接触れることなく適切に仕分けすることができるキャンペーンを開始。Live Debrisプロジェクトでは、世界レベルで廃棄物の問題に取り組んでいる。

その後、受賞された6人は、持続可能性と平和についてのワークショップや、ロータリーアクト会員などのヤングリーダーのための特別セッションで、平和構築における教育・科学の重要性にスポットライトを当てたワークショップに参加しました。世界保健機関(WHO)のポリオ撲滅ディレクターであるマイケル・ザフラン氏は、ポリオ撲滅活動の最新情報を発表。ロータリー、WHO、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、その他パートナー団体による活動により、ポリオ発症数は99%減少し、目覚ましい進歩を遂げています。「ポリオ撲滅を実現するこの国際関係があれば、世界平和を達成できるでしょう」

在ジュネーブ国際機関の日本政府代表部大使代表代理、および世界ポリオ撲滅推進活動のポリオパートナーグループ議長である志野 光子(しの みつこ)氏も同席しました。

ライズリー会長は基調講演で、次のように述べました。「ポリオ撲滅活動で私たちが学んだことは、多くの人々が一致団結して、問題を理解し、そのプロセスを理解し、リソースを結集し、影響力を強くし、計画を立て、目標を設定すれば、山をも動かすことができること。今こそ、行動を起こし、協力すべきときです」

2018-2019年度ラシン国際ロータリー会長のテーマ

去る日曜日、国際ロータリーの次年度会長バリー・ラシン氏(バハマ、イーストナッソー・ロータリークラブ所属)がロータリーの未来のビジョンについて語り、会員や地域の人びとへのインスピレーションとなって、次世代のために持続可能な活動を行うよう次期リーダーに呼びかけました。

ラシン会長エレクトは、米国サンディエゴで開催中のロータリー国際協議会で、次期地区ガバナーに向けて2018-19年度テーマ「インスピレーションになるよう」を発表。「何か大きなことに挑戦しようというインスピレーションを、クラブやほかのロータリアンに与えてください。自分よりも長く、後世にも生き続けるものを生み出すために、行動を起こす意欲を引き出してください」

ロータリーの新しいビジョン声明は、次のように謳っています。「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。ラシン氏は、このビジョン声明の意義を強調し、声明がめざすロータリーを実現するためにリーダーシップを発揮するよう求めました。

ビジョンの実現にはまず組織づくりが必要だと、ラシン氏は強調します。「ロータリーは第一に会員制組織です。ですから、奉仕活動を通じてより良い世界を築きたいと願うなら、まずは会員を大切にしなければなりません」変化を生み出そうという意欲を、クラブ会長と地区内ロータリアンの心に芽生えさせていきたいのです。もっと何かをしよう、可能性を最大限に発揮しようというやる気を引き出し、それぞれのやり方で前進できるよう手助けすることが皆さんの仕事です」

ポリオ撲滅の進展

ロータリアンにとってインスピレーションの源の一つはポリオ撲滅活動である、とラシン氏は述べ、過去30年間に成し遂げた顕著な進展に触れました。1988年には野生型ポリオウイルスによって推定35万人が身体まひを患っていましたが、2017年に報告されたポリオ症例数はわずか21件。「今がポリオ撲滅活動の正念場」と語り、「新規症例があるたびに、それが史上最最後の症例となる可能性がある」と述べました。

ただし、最後の症例が報告されても仕事が済んだわけではないと、ラシン氏は強調します。「撲滅認定委員会がポリオ撲滅を正式に認定するまで、すなわち3年間、川や下水、または人の体内からポリオウイルスが一切発見されなくなるまで、ポリオ撲滅活動は終わらないのです。……それまでは、今行っているすべてのことを続けていかなければなりません」。こう述べたラシン氏は、予防接種活動やサーベイランス(監視)に引き続き力を入れていくことの重要性を訴えました。

環境の持続可能性を守る

さらにラシン氏は、近年、ロータリーが人道的活動における「持続可能性」を重視していることに触れ、環境汚染や気候変動という厳しい現実をロータリアンが認識すべきであると述べました。祖国バハマの土地の80パーセントが海拔1メートル以下であることも指摘。2100年までに海面が2メートル上昇すると推定されており、「私の祖国は、ほかの多くのカリブ海諸島や、世界中の沿岸都市や海拔の低い地域と同様、50年後にはなくなってしまう」と懸念します。

ロータリーのすべての奉仕活動を、より大きなグローバルなシステムの一部としてとらえるよう、ラシン氏は呼びかけました。これは、次期地区ガバナーが、クラブだけでなく、地域全体にとってのインスピレーションとなる必要性を意味する、と述べます。「持続可能な活動成果をもたらし、世界をより良くしたいと私たちは願っています。ロータリー内部やロータリアンのためだけでなく、世界全体のあらゆる人々、あらゆる世代のために、私たちにできることがあるのです」